



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>

～ 理念 ～

「私達は、地域社会に
親しまれ、信頼され、
働きがいと誇りを持てる
病院を目指します。」

済生会

わかやま

NEWS

第2号

発行日: 2004.5

— Information —

済生会わかやまNEWSの第2号を発刊いたします。済生会わかやまNEWSは、病院広報誌です。今後定期的に病院の御案内をしていきたいと考えております。皆様の御批判、御意見をお聞かせ下さい。

さて、昨年10月に現在の十二番丁に移転し早半年が過ぎました。医療制度の「改革」で患者負担増や医療費の切り下げなど、患者様にとっても病院にとっても非常に厳しい時代になっておりますが、おかげをもちまして一時期はほぼ満床になるなど比較的順調にこの地での医療を始めさせていただいております。

当院の基本方針は、“救急医療の充実を図り、地域の医療機関、福祉施設との連携を保ち、地域に密着した患者様中心の病院を目指す”としております。特に救急部門では従来の内科、循環器科、外科、整形外科領域に加え、生活習慣に関連したハートアタック、ブレインアタックなどと言われる心筋梗塞や脳卒中に24時間対応する部門の充実を図りました。設備としては最新型のMRIや、2台目の連続血管撮影装置の導入など高額医療機器の整備や救急ベッドの充実を行いました。私たちはこれを十分に御利用いただくために地域の医療施設との連携が重要と考えております。すなわち、高齢化と生活習慣病の増加の時代に日常のかかりつけ医の推進と、救急時や精密検査必要時などの業務の分担を行うことが必要であると考えています。患者様にとっては、日頃の健康状態を知ってもらうかかりつけ医と入院時や精密検査時の担当医との複数の担当医をもつという事が今後は必要であると考えています。

済生会和歌山病院は今後も地域の医療施設や、地域の患者様に信頼され、安心して御利用いただける病院を目指していきます、皆様の御支援をお願い致します。



副院長 坂東憲生

心臓血管外科のご紹介

心臓血管外科医長 駒井 宏好

済生会和歌山病院心臓血管外科は血管の手術を中心に急性期の患者さんの診療を行っています。血管病は近年のわが国の生活習慣病のなかでも癌とならび重要視されている分野です。血管病のなかには脳、心臓の血管疾患がよく知られていますが、同様に手足の血管が詰まってくる閉塞性動脈硬化症という病気も最近非常に増えてきています。この病気ははじめは歩くと足がだるくなる、という症状ですが放っておくとじっとしていても足先が痛む、ゆびが腐ってくる、という耐え難い症状があらわれ結局足を切断しなくてはならないことになるものです。我々はこういった患者さんに対し詰まっている血管を飛び越えて血液を送るルートをつくるバイパス術という手術を行って患者さんが快適に日常生活を送れるようにしています。



またお腹の大動脈という心臓から下半身に血液を送るための一番大事な動脈が拡大して破裂してしまう腹部大動脈瘤の手術や足の血管がミミズのようにうきあがってきて足がだるくなる下肢静脈瘤の手術も多数行っており現在は和歌山県一の血管病手術件数を誇っています。しかし当科では手術ばかりでなくその他の保存的療法も積極的に取り入れてそれぞれの患者さんにとって最も日常生活の質が高くなるように治療していくよう努力しています。

また足の血管が悪い患者さんは心臓や脳にも問題がある可能性が高いため同時に検査を行い命の問題になるような病気を事前に見つけ出すようにしております。当院のモットーとして「頭のとっぺんから足のさきまで」総合的に血管病を治療することを掲げています。また和歌山県の心臓血管外科医教育施設として学会より心臓血管外科専門医研修施設にも指定されています。和歌山県での血管病治療センターとしての役割をこれからも果たしていきたいと思っています。

消化器科紹介のご紹介

消化器科医長 川口 雅功

最近の医療の進歩により、早期がんの発見・治療が可能になっております。当病院消化器科では、最新の内視鏡、腹部超音波検査、MRI、CTを駆使して、早期がんの発見、治療に努めております。日本内視鏡学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本消化器病学会専門医が常駐し、皆様方の普段の主治医である医院、病院の先生方と連携しながら、診断と治療にあたらせて頂いております。



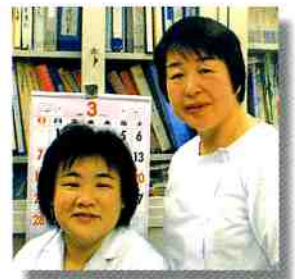
内視鏡検査については、ご希望により、鎮静剤を用いた軽い麻酔をさせて頂いております。早期がんが発見された場合には、短期間の入院で可能な、浸襲の少ない内視鏡治療（内視鏡の粘膜一括切除術）を行います。胆石に対する内視鏡治療、食道静脈瘤硬化療法も行っております。

肝腫瘍については、ラジオ波焼却治療を2002年から導入して居ります。肝硬変に対しては、薬剤師、管理栄養士と協力し、薬物・栄養治療を行っております。近年、肝臓疾患は多様化し、さまざまな検査・治療があります。その中で患者さま、特に高齢の方には、ご自分の病気をご理解し治療に励んで頂くことが、現実的になかなか難しいのが最近の医療の問題点の一つであると思います。そこで当院では、肝炎、肝硬変の患者さまと御家族の方々のために、肝臓病教室を月1回行い（自由参加）皆様方の勉強の場を設けて居ります。お声をかけて頂ければ、詳しくご紹介致します。

栄養管理科のご紹介

管理栄養士 仁坂 美穂

栄養管理科は患者様へより良いお食事を提供し栄養状態の保持・向上・回復をめざし一日も早い退院を願っています。当院栄養管理科は、直営の職員で調理をおこなっています。温冷配膳車による適時・適温食を実施しており、入院中のお食事はデイルームで召し上がっていただけます。また4月から選択メニューを実施する予定です。嚥下困難や食欲低下・体力低下のかた、その他状態により個人対応食をおこなっています。



また、管理栄養士による栄養指導は、月曜日～金曜日まで毎日実施しています。入院患者様・外来患者様及び他院より紹介患者様に対し、糖尿病・腎臓病・肝臓病その他疾患の個人指導を行っています。（糖尿病の指導は、糖尿病療養指導士が担当しています。）糖尿病教室・肝臓病教室による集団指導も行っています。調理実習会やハイキングなど院外の指導も実施しています。

チーム医療の一員として医師やコメディカルスタッフとの連携をはかっています。栄養管理科の管理栄養士・調理師およびスタッフは残食のないおいしい喜ばれる食事づくりに頑張ります。

臨床検査科のご紹介

臨床検査技師長

田中 久晴

臨床検査科では急性期および24時間救急体制の支援を目指し臨床検査全般を行っています。臨床検査には大きく分けて生理（生体）検査と検体（血液、尿、便）検査に分けられます。生理検査では心電図や呼吸機能検査とともに動脈硬化の指標（ABI・PWV）となる検査も行っていきます。心臓カテーテル検査では心電図や圧波形のモニタリングなどを行っています。

また、血管疾患の支援として頸動脈及び下肢静脈または深部静脈血栓の超音波検査を初めとして、心臓の超音波検査を超音波検査士（学会認定）が行っています。検体検査においては肝・腎・心・動脈硬化に代表される生活習慣病等の血液検査を院内にて30分以内の報告を目指し検査に従事しています。

また、近年輸血による事故等がよく報道されていますが当院では血液型・輸血に関わる検査については認定輸血検査技師（学会認定）が担当しています。また、チーム医療の一環として肝臓病教室での集団指導、糖尿病の指導では特に自己血糖測定の指導を中心に専門の糖尿病療養指導士（学会認定）の資格を取得した臨床検査技師が丁寧に検査・指導に心がけています。

24時間何時でも適切な検査を提供するため新病院では臨床検査技師の当直体制を実現し迅速かつ信頼性の有るデータ提供に日夜努力しています。



人に優しい検査環境

放射線科

今までMRI検査を受けられた方は、「狭い・うるさい・検査時間が長い」といった、不快感はございませんでしたでしょうか？

今回導入された装置は、これらを改善しており、**快適な検査環境を御提供致します。**



ソフトカラー・ラウンドデザインにより、検査室に入る時の威圧感はありません。



静音設計
独自の設計により、検査中に発生する不快な音を抑制します。



腹部像：17秒

高速撮影

最新の技術により、撮影もごく短時間です。



頭部血管像：14秒

「かかりつけ医」推進のご紹介

地域医療連携室

医療の機能分化と役割分担が進む中、医療は自己完結型から地域完結型へと転換を遂げつつあります。地域完結型の医療を成功させるポイントは医療連携を成功させることと言っても過言ではありません。

医療連携を推進するためには、医療の継続に病院として責任を負うべきであり、また組織的に取り組むことが大切と考え、地域医療連携室を中心に逆紹介を積極的に推し進める医療連携を開始しました。病院の都合でなく、患者の意思と選択が尊重される「患者中心の連携」を常に考えながら取り組みます。

当院では、平成16年2月より、院内に「かかりつけ医」推進の一つとして、写真のようなポスターを外来待合室や病棟のデイルームに掲示し啓蒙活動を行っています。それと同時に、他の医療機関のマップ図を外来受付に配置し患者さんの手助けを行っています。「かかりつけ医」となって頂いている開業医の先生方は会員制ではなく、どなたでも「かかりつけ医」となって頂いています。

これから、開業医や施設、病院とより緊密な連携をする為に連携パスなど一緒に作成していきたいと思っています。



お問合せ：TEL (073) 424-5186

FAX (073) 424-5187

地域医療連携室

上野山・半田まで

濟生会和歌山病院外来診療予定表

(平成16年5月6日より)

月	内科・呼吸器科・消化器科			循環器	放射線	外科・心臓血管外科		整形外科			脳神経外科	耳鼻咽喉科	腎センター	眼科	皮膚科	泌尿器科
	2診	3診	4診			1診	2診	1診	2診	リハビリ						
月	午前 井関	赤松	崎山	木村	—	重里	本田	松崎	山崎	南	南都	林	成川 梓谷	荒井	山本	—
火	午前 柳本	文野	坂東	山本	—	駒井		南	金川	山崎	仲	林	成川 梓谷 外来診察	荒井	—	—
水	午前 坂東	川口		阪井	野村	重里	本田	山崎	南	西田	南都	医大医師	成川	荒井	—	藤井
木	午前 文野	柳本	井関	木村	—	駒井		松崎	南	金川	仲	林	梓谷	荒井	酒井	—
金	午前 川口	赤松	崎山	山本	—	本田		山崎	金川	松崎	河邊	林	成川 梓谷	宮崎	—	柑本
土	午前 (隔週) 坂東	崎山 柳本		木村 阪井	—	特殊外来		当番医			当番医	2,4週 林 1,3週 医大医師	成川 梓谷	荒井 (第2・4)	—	—

健診のご案内

医事課 呑海しの

毎日、支障なく過ごしていても、自覚症状のないまま病気が進行していることが少なくありません。当院では、40歳以上の市民の方に基本健診・胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診、30歳以上の女性の方に乳がん検診、35歳以上の政府管掌健康保険加入の方に生活習慣病検診、一般企業向けに企業検診を実施しています。病院移転を機会に高性能MRIを使った脳ドックを実施しています。高血圧、糖尿病など生活習慣病の方や血縁者が脳卒中になったことがある方等は、脳ドックをお勧めいたします。MRIは磁石と電磁波の力によって人体の断面を撮影する画像診断装置です。放射線を使いませんので被爆する心配がありません。ストレスの多い現代社会ですので、年に一度は自分自身に時間をお使いください。詳しくは医事課健診係までご連絡ください。また、企業検診契約についてのご相談も承りますので、ご連絡お待ちしております。

肝臓病教室

場 所：濟生会和歌山病院 7階 多目的ホール
時 間：午後2時～
参 加 費：無料

糖尿病教室

日 程：偶数月の第3木曜日・金曜日（2日間）
場 所：濟生会和歌山病院 7階 多目的ホール
時 間：午後2時～午後3時30分

4月17日(土)	C型肝炎 検査技師と薬剤師
5月15日(土)	肝硬変について 医師
6月26日(土)	肝硬変について 検査技師・看護部
7月17日(土)	肝硬変について 薬剤師・理学療法士
8月21日(土)	肝硬変について 栄養士

診療案内

診 察 日：月～土曜日
受 付 時 間：午前8時45分～午前11時
休 診 日：日・祝祭日(年末年始)
面 会 時 間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187